

分析試験成績書

依頼者 株式会社 ナチュラルファーム

検体名 万能酵素

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町62番



2014年(平成26年)02月04日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
アミラーゼ力価	検出せず	50 単位/g	1	吸光光度法(可視)
カタラーゼ力価	検出せず	0.2 単位/mg	2
セルラーゼ力価	検出せず	2 単位/g	3
中性プロテアーゼ力価	検出せず	10 単位/g	4

注1. テンブロン(溶性)を基質とし、40℃、pH5.0において30分間に1%テンブロン溶液1mlを酵素呈色度が波長670nm、光路長10mmで66%の透過率を与えるまで分解する活性を1単位とした。

注2. pH7.0、25℃で過酸化水素を1分間に1μmol分解する活性を1単位とした。

注3. CMC(カルボキシメチルセルロース)を基質とし、40℃、pH4.5において1分間に1μmolのブドウ糖に相当する還元力を生成する活性を1単位とした。

注4. ケゼイン(乳製)を基質とし、38℃、pH6.0において、反応初期の1分間に1μgのL-チロシンに相当する非たん白性のフェノール試薬呈色物質の増加をもたらす活性を1単位とした。

以上

